

特集「エンタテインメントコンピューティング」の 編集にあたって

伊藤 雄一^{1,a)}

本特集号は、2017年9月16日(土)～18日(月)に、東北大学電気通信研究所にて開催されたシンポジウム「エンタテインメントコンピューティング2017」(実行委員長：高嶋和毅(東北大学)、プログラム委員長：伊藤雄一(大阪大学)に連動して企画しました。シンポジウム自体は台風18号の接近により、最終日の18日は中止となったのですが、非常に盛り上がったのが印象的でした。

そんなエンタテインメントコンピューティングという研究領域ですが、特にここ2～3年は取り巻く状況が大きく変わってきたといえるでしょう。エンタテインメントコンピューティングといえば、その基礎研究や応用の中で、いわゆる「ゲーム」は外せないテーマですが、HMDやコンシューマー向けの新規ゲーム機などがいくつか発売され、これまで研究室の中に閉じがちであったVR環境を用いたゲームが一般化するのと同時に、「e-sports」の選手が、ドキュメンタリー番組で取り上げられるなど、ハードウェアだけではなく、ソフトウェア、さらにはそのコンテンツ自体も大きく変わりつつあります。そのような業界のうねりの中で、我々研究者が研究として目指すビジョンとは何か、どのような知見を世間にフィードバックできるかは、大きな注目を集めているといえるでしょう。このような新陳代謝の激しい研究分野における論文による研究発表のあり方としては、迅速な論文文化の機会の提供が最も重要であり、エンタテインメントコンピューティング2017の開催にあわせてエンタテインメントコンピューティングに関する特集を組みました。

本特集号では特にテーマを限定せず、エンタテインメントコンピューティングに関する理論的・実践的研究、各種応用システム開発やコンテンツ制作など広く受け入れています。さらに、本領域特有の研究成果には、信頼性—有用性軸に基づく工学的価値を重視した審査基準に当てはまりにくいものの、芸術性の高いものや社会科学的な観点から価値が高いものも数多くあります。本領域においてマイルストーンとなりうる「真に面白い」論文を拾い出すために、前回の特集号と同様、エンタテインメントコンピュー

ティング分野で先導的な立ち位置にいる研究者をスペシャルエディタとして招き、審査を行っていただきました。各スペシャルエディタは投稿された全論文を精査し、採録の価値があると判断した論文については、推薦文を本特集号の編集委員会に付託します。編集委員会は当該論文については減点方式での採点を避け、特集号の趣旨に照らし合わせて優れている部分に力点を置く論文審査手続きを採用しました。

最終的には、本特集号への投稿数19件に対して、10件の論文が採録されました(採録率52.6%)。この採択率は、昨年の40%から向上しており、編集委員の皆様による議論と、メタ査読者としての各委員のご尽力によるものと考えております。なお、スペシャルエディタの委員の方々には、いくつか論文を推薦いただきましたが、初回判定における不採録論文については該当なしとの結果でした。

本特集号では、エンタテインメントコンピューティングに関する理論的・実証的研究、各種応用システム開発やコンテンツ制作など広範囲な分野の研究を広く受け入れることができたと考えております。これらの分野は一般の方が目に触れたり、体験することが多いシステムであることが期待され、本研究分野の進展は、情報学の一般への波及効果が大きいと期待できると考えられます。さらに、このような分野で学術的な進歩性を保つことは、世界における本邦のプレゼンスの向上にも大きく寄与すると考えられることから、今後も継続して注力すべきであると考えます。本特集号が、エンタテインメントコンピューティングという研究分野のマイルストーンとして、当該研究分野に係る読者の皆様にとって価値のあるものとなることを願っています。

最後に、ご投稿いただいた著者の皆様、編集にご尽力をいただきました幹事団の皆様、編集委員の皆様、スペシャルエディタの皆様、丁寧な査読にご協力いただいた査読者の皆様、本特集号の機会を与えていただき編集のご支援いただいた論文誌編集委員会と学会事務局の皆様深く感謝いたします。

¹ 大阪大学
Osaka University

^{a)} itoh@ist.osaka-u.ac.jp

「エンタテインメントコンピューティング」特集号編集委員会

- 編集長
伊藤雄一（大阪大学）

- 幹事
小坂崇之（神奈川工科大学），坂本大介（北海道大学），
高嶋和毅（東北大学），長谷川晶一（東京工業大学），
真鍋宏幸（NTT ドコモ）

- 編集委員
井村誠孝（関西学院大学），梶本裕之（電気通信大学），
北原鉄朗（日本大学），倉本 到（大阪大学），小泉直也
（電気通信大学），河野恭之（関西学院大学），阪口紗季
（東京大学），杉浦裕太（慶應義塾大学），竹川佳成（公
立はこだて未来大学），寺田 努（神戸大学），中野倫靖
（産業技術総合研究所），中村聡史（明治大学），永谷
直久（京都産業大学），鳴海拓志（東京大学），馬場哲晃
（首都大学東京），平井重行（京都産業大学），福地健太郎
（明治大学），星 貴之（Pixie Dust Technologies Inc.），
松下光範（関西大学），水口 充（京都産業大学），棟方
渚（京都産業大学），吉野 孝（和歌山大学）

- スペシャルエディタ
小坂崇之（神奈川工科大学），杉本麻樹（慶應義塾大
学），長谷川晶一（東京工業大学），築瀬洋平（ユニティ
テクノロジーズジャパン）